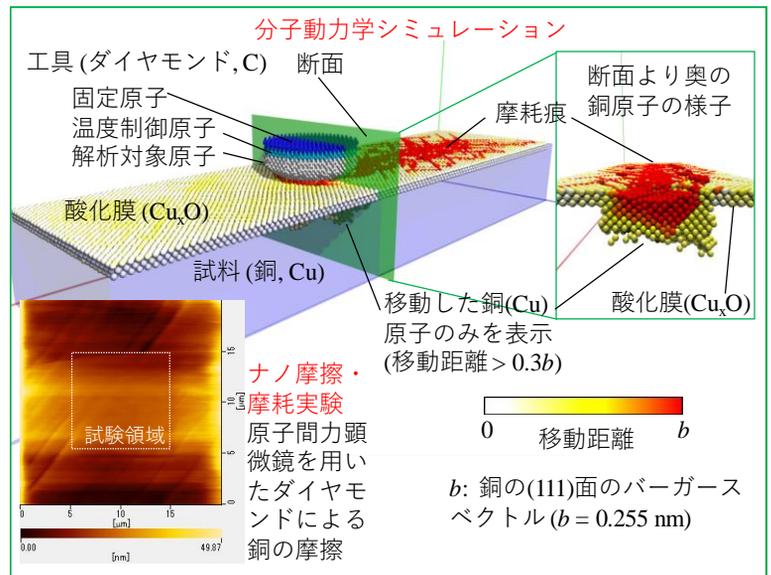


摩擦や表面加工時の現象を原子スケールで科学し役立てる

自身の発想をもとに、あるいは企業等からの依頼を受け、自動車用部品の摩擦・摩耗現象や、金属もしくは半導体のナノ・マイクロ加工のメカニズムを、分子シミュレーションとナノ・マイクロスケールの実験を組み合わせ、明らかにしたり、そこから新たな表面機能を見出したりすることで、新製品や新技術の開発に役立てています。



キーワード エネルギー散逸、表面微細構造、原子間力顕微鏡

分野 摩擦・摩耗・潤滑、精密加工、計算物理